RV320およびRV325 VPNルータシリーズでのEasy Client to Gateway Virtual Private Network(VPN)の設定

目的

バーチャルプライベートネットワーク(VPN)は、パブリックネットワークまたは信頼できないネットワークからインターネットに接続するリモートユーザにセキュリティを提供します。VPNのタイプの1つは、クライアントからゲートウェイへのVPNです。クライアントとゲートウェイを使用すると、地理的に異なるエリアにある会社の異なるブランチをリモートで接続して、エリア間のデータをより安全に送受信できます。Easy VPNは、Cisco VPN Client Utilityを使用してVPNのセットアップと設定を迅速に行います。

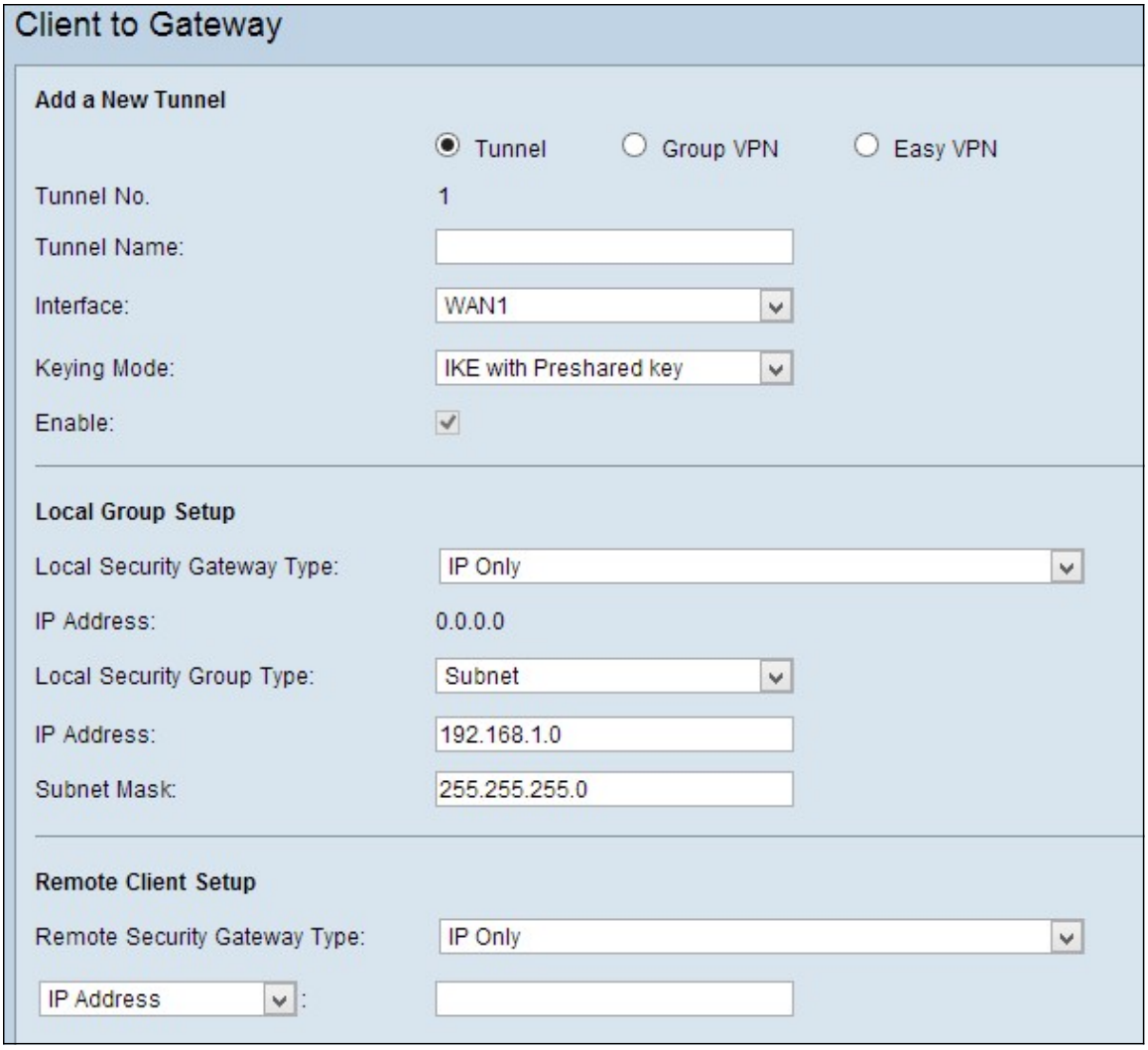
このドキュメントの目的は、RV32x VPNルータシリーズでEasy Client to Gateway VPNを設定する方法を示すことです。

該当するデバイス |ファームウェアのバージョン

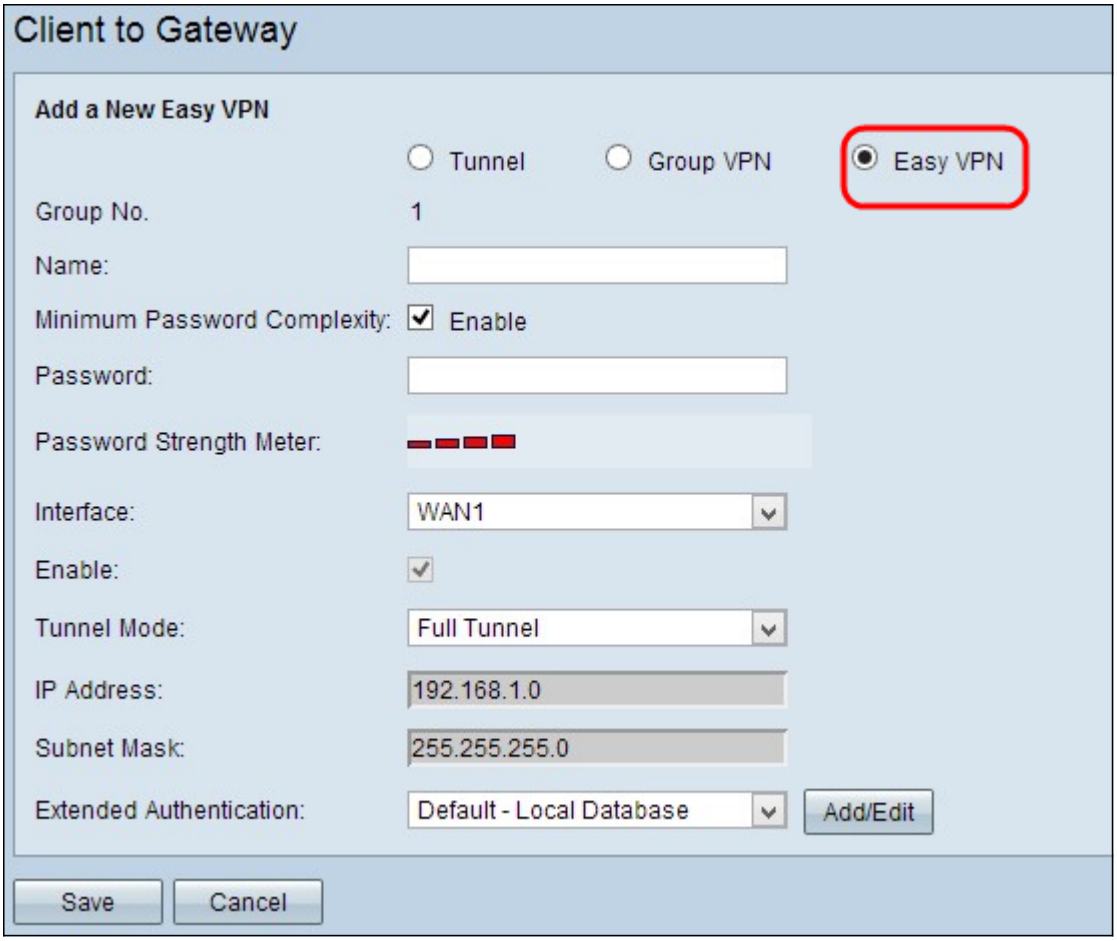
- RV320デュアルWAN VPNルータ | 1.1.0.09 (最新のダウンロード)
- RV325ギガビットデュアルWAN VPNルータ | 1.1.0.09 (最新のダウンロード)

Easy ClientからゲートウェイへのVPNの設定

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、**[VPN] > [Client to Gateway]を選択します。**[Client to *Gateway]ページが*開きます。

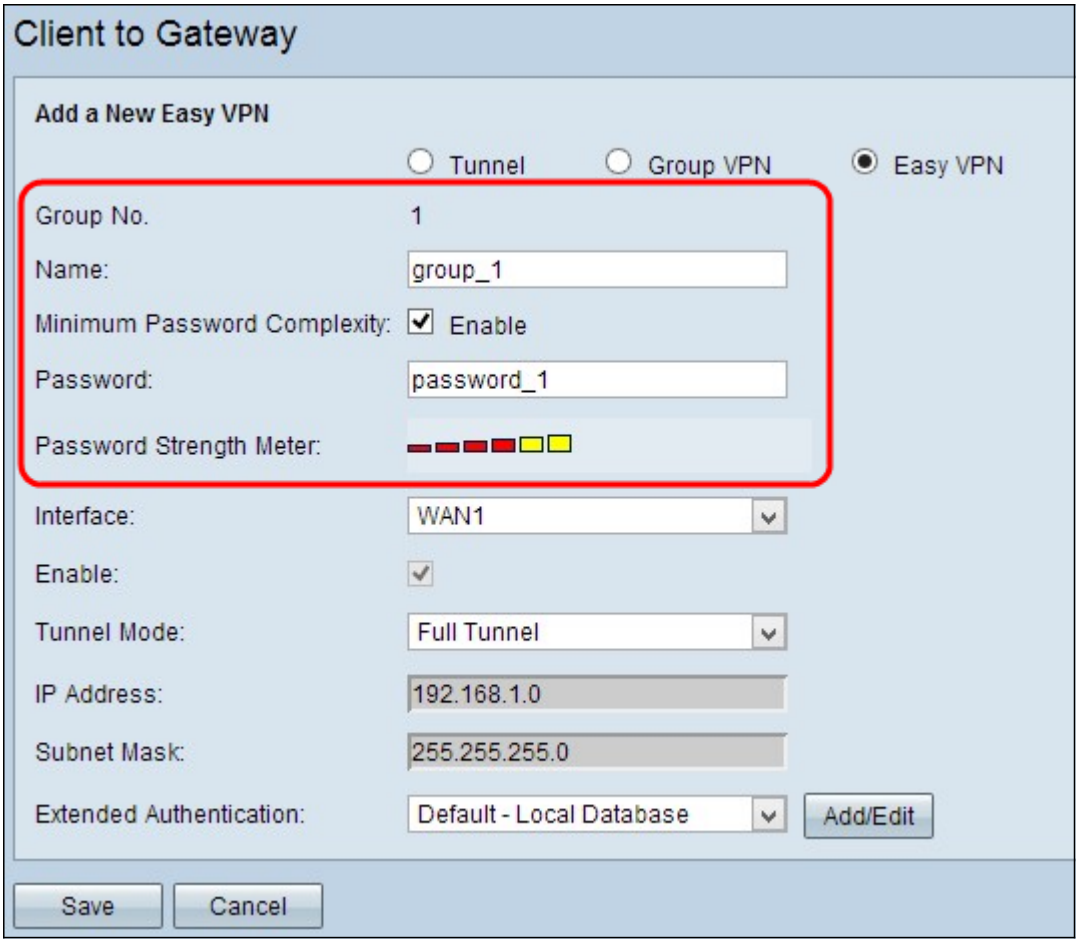


ステップ2:[Easy VPN]ラジオボタンをクリックします。



注：グループ番号は、*グループ*の番号を表します。 自動生成フィールドです。

ステップ3:[*Name*]*フィールド*に、トンネルの名前を入力します。

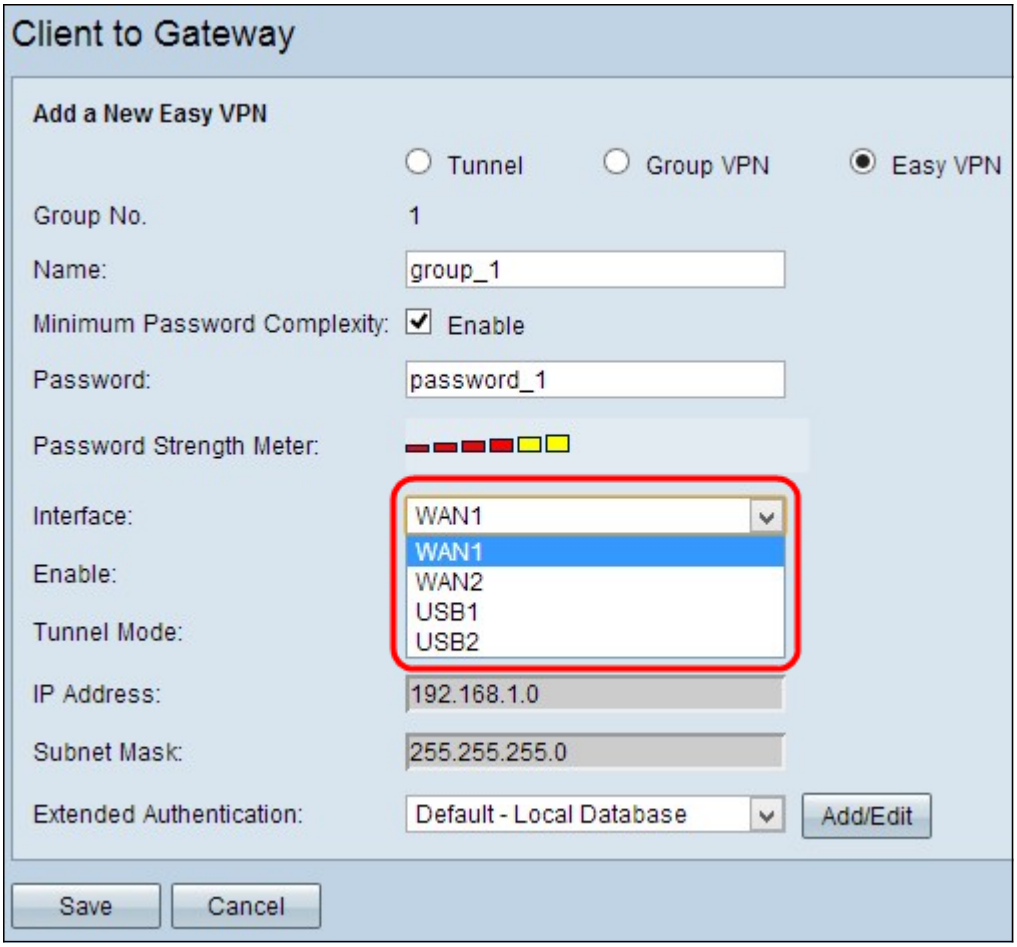


ステップ4: (オプション) 事前共有キーの強度メーターを有効にする場合は、[パスワードの最小複雑度(**Minimum Password Complexity)]チェックボ**ックスをオンにします。

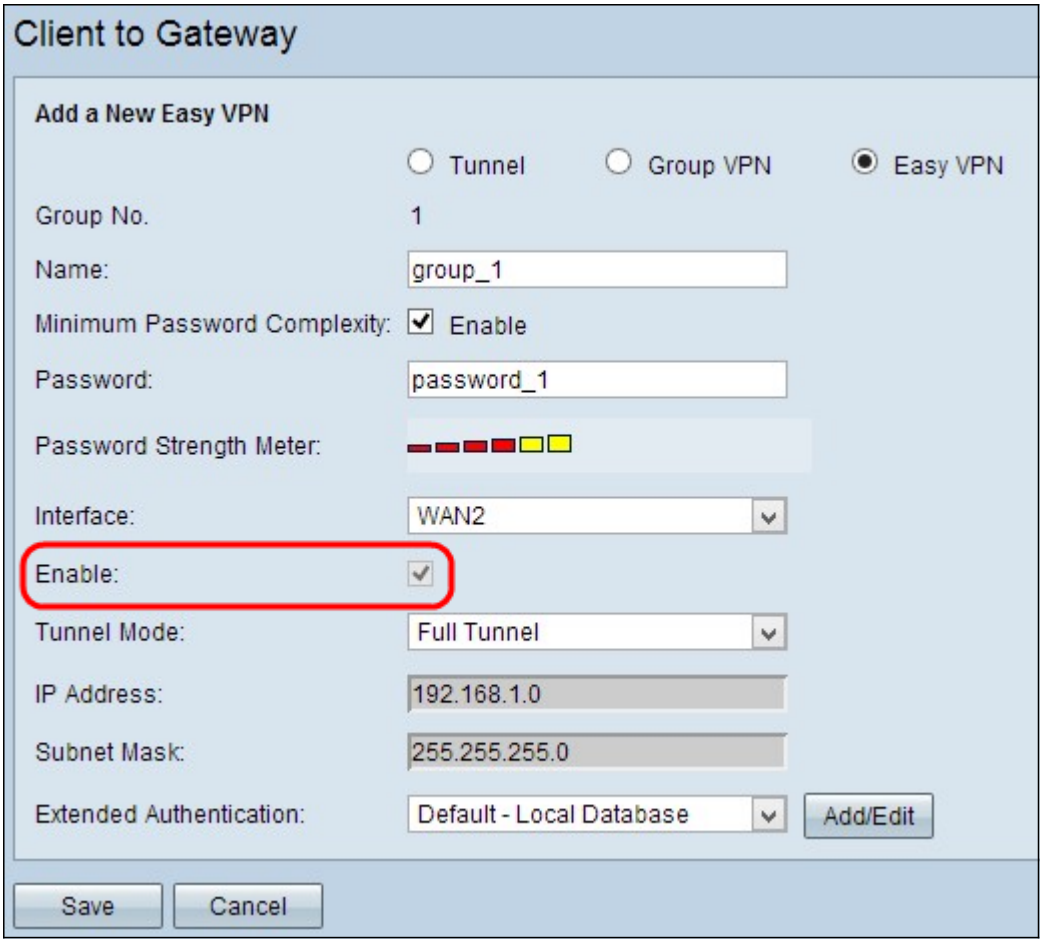
ステップ5:[パスワード]フィールドに、パスワードを入力します。

- Password Strength Meter – 色付きのバーを使用してパスワードの強度を表示します。赤は弱い強さを示し、黄色は許容される強さを示し、緑は強い強さを示します。ステップ4で[**Minimum Password Complexity**]チェックボックスにチェックマークを付けていない場合は、[Password Strength Meter]が表示されません。

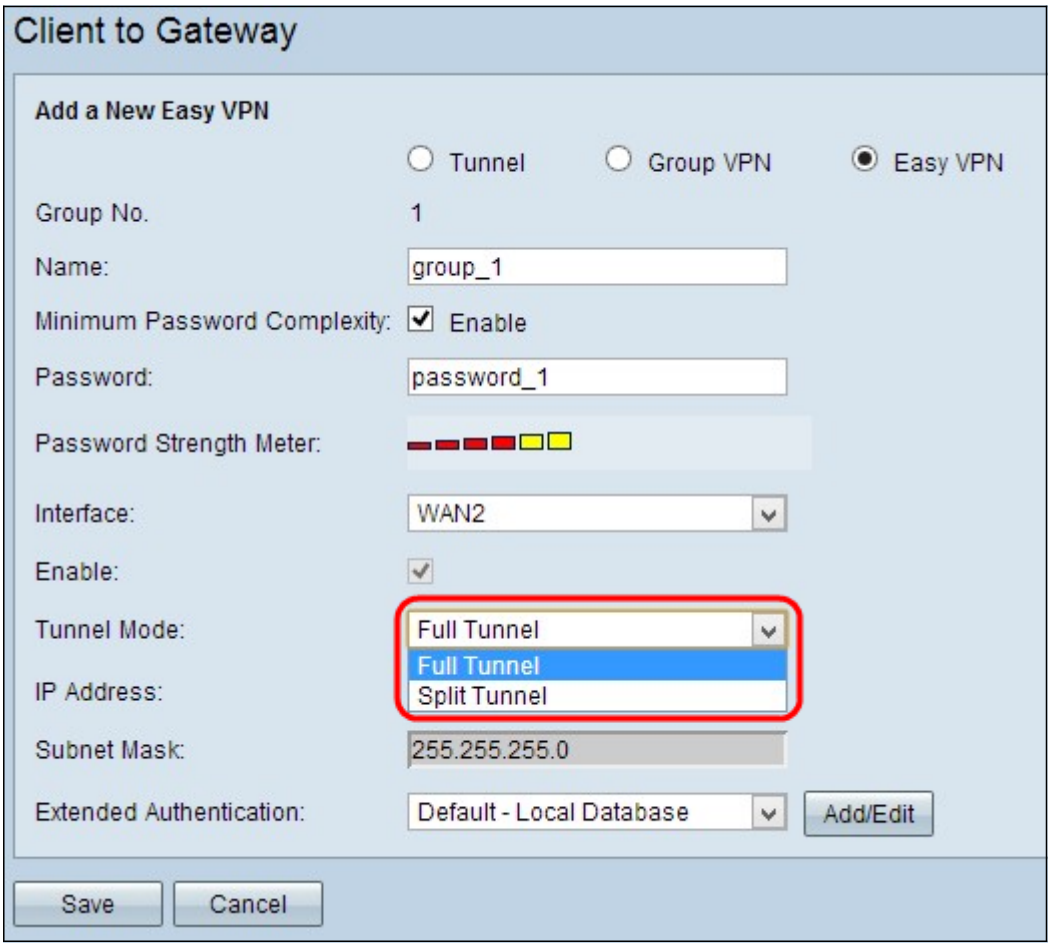
ステップ6:[Interface]ドロップダウンリストから、クライアントがゲートウェイへのEasy VPNを確立するために使用する適切なインターフェイスを選択します。



ステップ7:[Enable] チェックボックスをオンにして、クライアントからゲートウェイへのVPNを有効にします。デフォルトでは有効になっています。



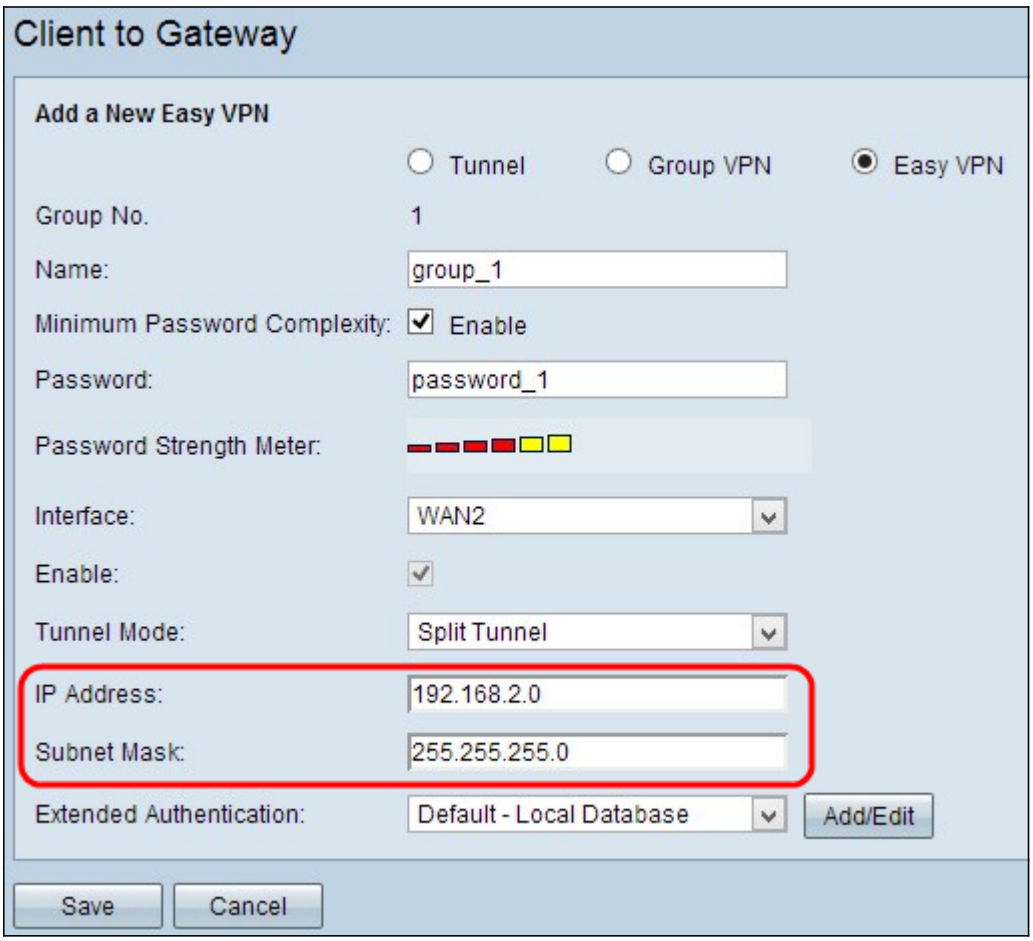
ステップ8:[Tunnel Mode]ドロップダウンリストから適切なトンネリングモードを選択します。



使用可能なオプションは次のように定義されます。

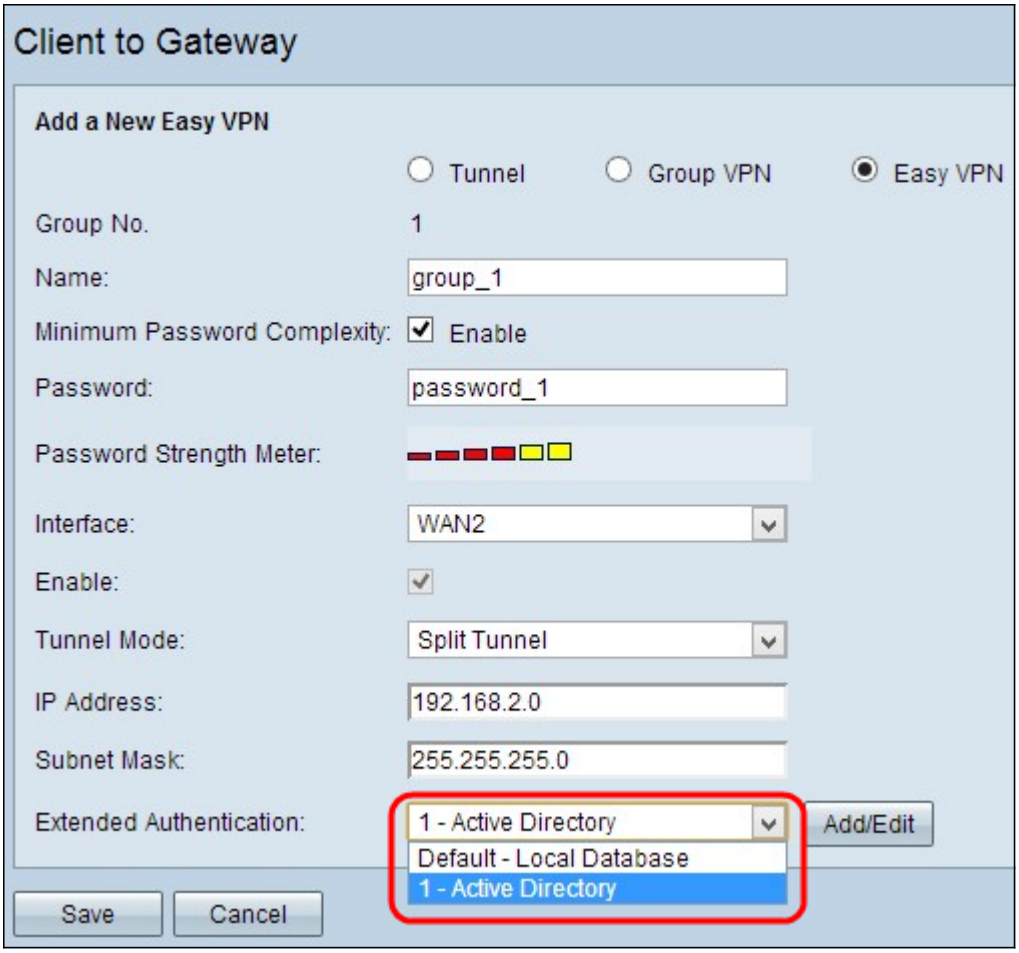
- 完全トンネル：トラフィックに対するセキュリティを強化するために、VPNトンネル経由ですべてのトラフィックを送信します。このオプションを選択した場合は、ステップ11に進みます。
- スプリットトンネル：VPNクライアントがパブリックインターネットとVPNリソースに同時にアクセスできるようにし、帯域幅を節約します。

ステップ9:[*IP Address*]フィールドに、Easy VPNのインターフェイスに割り当てるIPアドレスを入力します。



ステップ10:[Subnet Mask] フィールドに、Easy VPNインターフェイスに割り当てられたIPアドレスのサブネットマスクを入力します。

ステップ11:[*Extended Authentication*]ドロップダウンリストからVPNクライアントに適切な認証を選択し、IPSecホストのユーザ名とパスワードを使用してVPNクライアントを認証するか、またはユーザ管理にあるデータベースを使用します。両方のデバイスでこの機能を有効にする必要があります。



使用可能なオプションは次のように定義されます。

- 1 - Active Directory – 認証はActive Directoryを介して拡張されます。 Active Directoryは、Windowsドメインネットワークのネットワークセキュリティを提供するサービスです。新しいディレクトリを追加するか、既存のディレクトリを編集する場合は、[追加/編集]をクリックします。
- デフォルト：ローカルデータベース：認証はルータによって実行されます。データベースを追加または編集する場合は、[追加/編集]をクリックします。

注：Active Directoryまたはローカルデータベースの追加または編集方法の詳細については、『*User and Domain Management Configuration on RV320 and RV325 VPN Router Series*』というタイトルのドキュメントを参照してください。

ステップ12:[Save]をクリックして、設定を保存します。